

令和5年度 人材確保イベント

「はじめて知る飛行機」

(一社)日本航空宇宙工業会は、去る2023年10月28日(土)、将来を担う中高生に「航空業界」に関心を持ってもらうため、岐阜県各務原市にてイベントを開催した。

1. イベント開催の背景

“コロナ後”の航空輸送・旅客需要の回復に伴い、航空機の供給(製造)能力の回復が急務となっている。少子化、ものづくり労働の敬遠、自動車を始めとする他製造業との人材獲得競争が始まり、航空機関連の仕事(運航、製造、整備等)における深刻な人手不足の対策が必要であるが、コロナ禍初期のパイロットや乗務員の配置転換あるいは採用控え等の報道により、「航空業界」志望であろうはずの学生にすら先細りのイメージが定着してしまい、業界全体で人材確保が困難な状況となった。

そこで、中高生の保護者や学校の進路指導者に航空業界の現状と将来性について正しい情報を提供し、航空機産業を就職先として考えて頂くきっかけとすべくイベントを企画した。

2. イベントの全体概要

日時：2023年10月28日(土) 8:30~16:00
会場：航空自衛隊岐阜基地、川崎重工業岐阜工場、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館(空宙博)
参加者：岐阜県、愛知県在住の中学生・高校生とその保護者および学校教員126名(中学生32(11)、高校生40(9)、保護者48(14)、教員6(3))

※()は女性で内数。募集定員140名に対し、応募者は定員に到達したが14名が諸事情によりキャンセルとなった。

参加費：無料

共催：岐阜県、各務原市、経済産業省中部経済産業局

協力：航空自衛隊岐阜基地、公益財団法人岐阜かかみがはら航空宇宙博物館、川崎重工業株式会社、川崎岐阜協同組合

3. 参加者募集

2023年9月8日からチラシの配布やポスターの掲示などによる募集を開始。各務原市には、市内の中学校に周知いただいた。岐阜県には、県内の各務原市以外の一部中学校と全高校に周知いただいたほか、県主催の高校生向け航空・宇宙関連イベント参加者や県内の航空宇宙関連企業にもメールなどで案内をしていた。また、中部経済産業局には、定例記者会見での発表と岐阜県以外の東海地域の一部公共施設、学校、展示会やネットで掲示などをしていただいた。そして参加希望者には、10月6日を期限にウェブサイトから応募していただいた。

飛行機の面白さが分かる1日!
はじめて知る 飛行機
 2023年 10月28日 8:30 - 15:30

中学生・高校生と保護者対象

日本の航空機産業の歴史と未来
 ～飛行機作りの面白さが分かる～
 出典:川崎重工(株)HP

航空自衛隊 岐阜基地見学※ ～迫力! F-15、F-2発進!～
 ※岐阜基地見学は、随時により内容を変更する場合があります。
 出典:航空自衛隊HP

川崎重工業 岐阜工場見学
 ～P-1、C-2はここで作られている～
 ・T-4地上展示機をバックに記念撮影/
 ・参加者にはもちろん記念品をご用意/
 出典:航空自衛隊/海上自衛隊HP

会場(会場間はバス移動) 航空自衛隊岐阜基地 →川崎重工業岐阜工場→岐阜かかみがはら航空宇宙博物館(空宙博)

対象(参加費無料) 岐阜県および近隣の東海地域在住の中学生・高校生とその保護者及び学校の教職員(保護者のみ、または小学生以下のお子様のお申込みはご遠慮ください)
 ※昼食のご用意はしておりませんので、空宙博のレストランをご利用ください。キッチンカーも来ます!

定員 140名

集合場所・時間
 【電車をご利用の方】名鉄三神野駅前 8:00 集合(岐阜基地北門まで徒歩移動)
 【自家用車をご利用の方】空宙博入口前 7:30 集合(岐阜基地北門までバス移動)
 ※イベント終了後、空宙博で解散します。電車利用の方のために、JR岐阜駅までのバスをご用意する予定。

申込方法 日本航空宇宙工業会ウェブサイトの申込フォームにてお申込ください。
 申込期限は10月6日(金)17:00です。
 参加者は先着順で決定し、結果は別途通知します。
 URL:<https://www.sjac.or.jp/>

主催 一般社団法人 日本航空宇宙工業会
 共催 岐阜県、各務原市、経済産業省中部経済産業局
 協力 航空自衛隊岐阜基地、公益財団法人 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館、川崎重工業株式会社、川崎岐阜協同組合

チラシ/ポスター

4. 参加者集合

イベント当日の朝、自家用車利用の参加者は、空宙博の駐車場に集合して受付後バスで、電車利用の参加者は、岐阜基地の最寄り駅に集合して受付後徒歩で、それぞれ岐阜基地の

北門前まで移動。数組から当日不参加の連絡があったが、遅刻者はゼロであった。そこからバス4台で最初の見学場所である岐阜基地の機体格納庫に向かった。



空宙博での参加受付



空宙博の外観と屋外展示機

5. 航空自衛隊岐阜基地での機体見学

参加者は、3つのグループに分かれ、グループ毎に格納庫内のF-4、F-15、F-2の3機の戦闘機を間近で見ながら、隊員に聞きたい質問をぶつけ、隊員からの丁寧な説明に熱心に耳を

傾けていた。そのあとF-15、F-2の離陸時間になり、格納庫の前に位置するエプロンに移動して離陸状況を見学。戦闘機の迫力に皆、圧倒された様子であった。



岐阜基地格納庫内での隊員の説明①



岐阜基地格納庫内での隊員の説明②



F-15のエンジン音に耳を塞ぐ参加者



飛び立つF-2の姿を追う参加者たち

6. 川崎重工業岐阜工場での機体製造・修理 職場見学

岐阜基地見学後、4つのグループに分かれてバスに乗車し、岐阜工場南工場に移動。CH-47、MCH-101、OH-1の組立／修理職場、T-4、P-1、C-2の修理職場は、建屋内に入っ
て見学。P-1の組立職場やKC767、C130、E-2Cの修理職場は、バスに乗車したままではあったが、グループ単位で各職場を回り、社員の

説明を聞きながら見学した。普段は見られない航空機の組立、修理職場を間近で見て、さらに整然と並べられた部品や工具、事故防止の注意書きなどに感心して驚いている様子であった。最後に中工場にある総合ビルに向かい、1階のエントランスに鎮座するT-4ブルーインパルス仕様機と一緒にグループ毎に記念撮影を行った。



ブルーインパルス仕様機を背に記念撮影

7. 航空機に関する講演聴講、映像視聴

岐阜工場での記念撮影を終えたグループから順にバスで空宙博に移動。遅めの昼食を済ませ、シアタールームに入場。川崎重工業航空宇宙システムカンパニーの野久 徹氏から航空宇宙開発の歴史、航空機開発の大変さと素

晴らしさ、航空機産業の現状と将来について30分ほど講演いただいたあと、P-1固定翼哨戒機の開発および海上自衛隊での訓練のドキュメンタリー映像を見ていただいた。参加者は、特に野久氏の話に惹きつけられたようで熱心に耳を傾けていた。



講演資料の投影



川崎重工業 野久 徹 氏

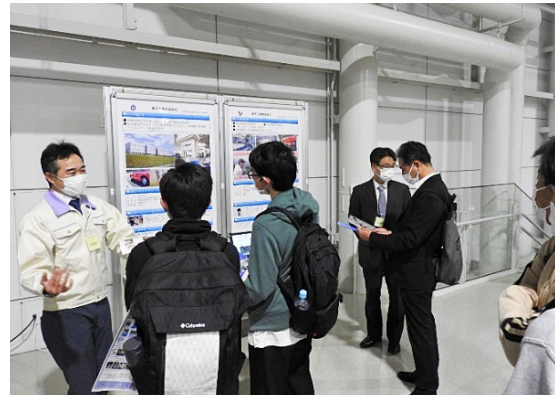
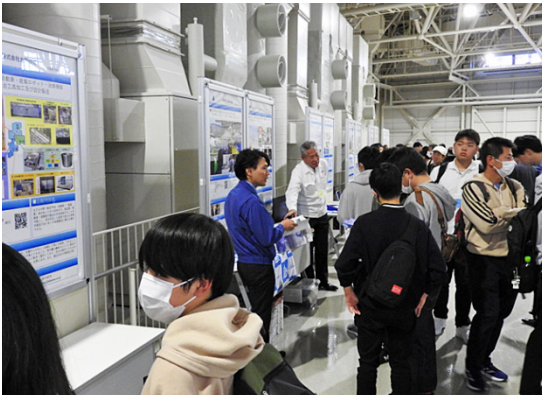
8. 航空機部品の展示と企業等紹介

映像視聴のあと、空宙博1Fの常設展示である航空機部品を見たり触ったりしていただいた。また、その上の2F展示スペースでは、岐阜県内の航空機関係企業の紹介パネルの展示があり、各社の社員が自社製品の作り方や業務内容などを熱心に説明され、参加者の様々な質問に丁寧に回答されていた。

また、自衛隊岐阜地方協力本部は、パネルのほか模型も展示して質問に対応されていた。

<パネル出展企業等>

川崎重工業(株)、名北工業(株)、岩戸工業(株)、鳥羽工産(株)、各務原航空機器(株)、榎本ビーエー(株)、(株)水野鉄工所、APCエアロスペシャルティ(株)、(株)加藤製作所、メイラ(株)、天龍エアロコンポーネント(株)、徳田工業(株)、旭金属工業(株)、光製作所(株)、中日本航空専門学校、自衛隊岐阜地方協力本部



企業等紹介パネル展示

9. 参加状況と参加者の感想

当初、ターゲットとした中高生とその保護者の方々が本当に一緒に参加いただけるのか心配していたが、蓋を開けてみればほとんどがご家族での参加であった。また、学生は4人に1人が女子学生であり、保護者や女性のモノづくりと航空機への関心の高まりが感じられるイベントとなった。参加者は、朝8時過ぎから夕方4時頃まで長時間にわたるイベントで若干お疲れのようであったが、最後に川崎重工業のご厚意による記念品を受け取り、皆満足された様子で帰宅の途に就かれた。

アンケート結果によると、「普段見られない基地や工場の見学は、特別な体験だった。」と非常に強い印象を持たれたようである。また、講演や映像は「分かり易かった。感動した。」、企業紹介は「地域の航空機関係企業を始めて知った。興味が湧いた。」というような回答が多く見られ、航空機産業への関心を高め、就職先として考えていただくきっかけになったと思われる。

(アンケート結果から抜粋したものを末尾で紹介)

10. 所感

今回は、当会が、自治体、大企業、中小企業並びに自衛隊それぞれが目指す目的を整合し、1つのイベントにまとめる役割を務めさ

せていただいた。イベント内容、開催場所、日程の調整に始まり、講演者や映像製作・編集、移動手段、チラシ作成、参加者の募集要領など、調整すべき項目は多岐にわたった。約半年の準備期間を要し、開催直前には、予定していたキッチンカーが手配できなくなるなど、様々な問題が出たが、関係諸氏のご協力により想定以上の成果を上げることができたのではないかと思う。

当会は、今後も航空機産業界の活性化のため、同種イベント開催などの取り組みを継続していくので、会員企業の皆様にもご理解、ご協力を賜りたい。

最後に、本イベント開催にご協力いただいた岐阜県、各務原市、中部経済産業局、航空自衛隊岐阜基地、(公財)岐阜かかみがはら航空宇宙博物館、川崎重工業(株)、川崎岐阜協同組合および県下中小企業の方々、自衛隊岐阜地方協力本部のほか、関係企業の方々、また、本イベントを記事にいただいた(株)中日新聞社、(株)岐阜新聞社、(株)リトルクリエイティブセンターに、この場を借りて感謝を申し上げたい。ご協力いただいた各団体、企業におかれては、今回得られたノウハウや参加者のアンケート結果を各位の人材確保のためのイベントや施策に生かしていただければ幸いである。

[(一社) 日本航空宇宙工業会 調査部 部長 宮澤 克彦]

＜参加者アンケート結果（抜粋）＞

元々航空機産業に興味があつて参加された方が8割を占めていたが、イベント後には9割を超え、新たに興味が湧いた方が1割以上、また、ほとんどの方がさらに興味が増したというアンケート結果であった。

参加して良かった、航空機に興味が増えたという方々のコメント	
	今まで知らない分野だったが子供がとても興味を示した。目の前での戦闘機離陸は貴重な体験で、とても興奮していた。
	国産航空機開発の苦勞が知れたこと、間近で戦闘機を見ることができ、パイロットに色々質問できた。
	実際に開発に携わられた方の講演やドキュメンタリーを拝見することができ、大変貴重な機会であった。
	航空機の製造には多くの企業関わっており、各企業が持つ技術を進歩させているということを実感できた。
	航空機産業が盛んな岐阜県美濃地方に優秀な企業があることも知れてとても良かった。
	近くで見学できて素材の違いを感じられた。
	間近での説明も丁寧にしていただけて充実した時間であった。
	今後必要な人材を確保するためにも、今回のような航空機産業や飛行機に興味を持つ若者を集めたことはとても意味のあることだと感じた。
	国産航空機開発にはとてつもない困難が生じるが、その困難を克服した先には大変な喜びがあることを実感した。
	開発から始まり、航空機がその役目を終えるまでにとても長い時間を要すること、その為には人材育成がとても重要であると言うことが興味深かった。
	パイロットに興味があつたが、整備やエンジニアにも興味が湧いた。
	様々な機体の説明や見学、機体を見たうえで工場見学と説明を聞くことにより興味が湧いた。（順番が良かった）
	T-4やP-1が意外と近辺で修理されていることを知ったので、岐阜の航空機産業にもっと興味が湧いた。
	地域の企業の説明が良かった。業務内容を直接伺うことで現実的な興味が湧いた。
	息子は元々関心薄めであつたが、今回は参加前から楽しみにしており、特に工場見学は喜んでた。
	造って終わりではなく、点検整備が必要でそのための技術継承が必要だと気付かされた。
イベントを通して改善すべき点	
	ものづくりの魅力を体験できると思った。リベット打ちとか工具を触るとか。
	工場は稼働していた方が雰囲気が出ると思う。
	博物館で常設展示機と関わりのある企業ブースを機体の近くに配するなど、1階フロア全体でアピールすると面白いと思う。

その他のイベントに関する意見、感想	
	また来年以降もこの様なイベントがあるなら他の中学生、高校生にはたくさん宣伝したいと思う。早いうちから興味あるものを見つける、とても大切な事だと思う。
	子供は毎年でも参加したいと言っていた。興味がある人が自分で申し込むスタイルなので、今後の航空産業にとってとても良い企画だと感じた。
	息子には貴重な体験が出来た。このようなイベントをきっかけに様々な職業の選択肢や、やりたいことが見つかるの良い。
	多くの関係者の皆様が丁寧に説明して下さったので理解しやすかった。
	自衛隊や航空機産業はあまり知らなかったが、私達の身近な所でこのようなすごいことが行われているということを知り、子供にはとても勉強になったようだ。
	戦闘機1機のために、あれだけの時間をかけて入念にチェックしている姿が印象的であった。攻撃力が備わっていると聞いて恐ろしく思ったが、ここが日本で良かったとも思った。これまで興味がなかった航空祭も、今年は違う目線で楽しみたいと思う。